

2015年6月16日付 更新版



報道関係者各位

2015年5月25日

VAIO 株式会社

ビジネスシーンで実力を発揮するタフモバイルノート PC 「VAIO Pro 13 | mk2」 発売

VAIO 株式会社は、VAIO Pro 13 の後継モデルになる「VAIO Pro 13 | mk2」（バイオプロ 13 マークツー）を発売致します。



VAIO Pro 13 | mk2 は、現行モデルの VAIO Pro 13 のデザインの美しさなどの魅力を踏襲しつつ、要望の高かった堅牢性の向上、インターフェースの追加などが行われたモデルです。プライベートシーンのみならず、Pro=Professional と名を冠する通り、ビジネスシーンでも活躍するタフモバイルノート PC に生まれ変わりました。また、シルバーのカラーバリエーションが追加されました。

【開発背景「VAIO 株式会社が目指すものづくり」】

「最高のアウトプットを求める方の「究極の道具」をめざす」

スマートフォン・タブレットが普及する中において、生産性、創造性を追求する作業には、いまだ PC は欠かせない存在です。その作業を一瞬たりとも妨げないものが究極の道具であり、それが PC の本質と考えます。

本日発表する「VAIO Pro 13 | mk2」は、モバイル PC の必要条件の「薄さ」や「軽さ」は妥協せずに、使いやすさとデザイン性をいかに両立できるかを追及したモデルです。

さらに、VAIO Pro13 から堅牢性を高め、いまだニーズの高いアナログ RGB 出力端子や有線 LAN コネクタを搭載することにより、一層ビジネスシーンで活躍する PC に仕上げました。

【モデル概要】

商品名：VAIO Pro 13 | mk2



VAIO Pro 13 | mk2 商品ページ：

vaio.com/products/pro_mk2

カスタマイズモデル(VAIO OWNER MADE)/ 個人向け標準仕様モデル 概要：

型名	受注開始/発売予定日	市場想定価格 (税抜)
カスタマイズモデル (VAIO OWNER MADE モデル) 主な仕様： vaio.com/products/pro_mk2/13-3/specification.html		
VJP1321シリーズ	ブラック 受注開始日：2015年6月3日～ 最速お届け日：2015年6月11日	オープン価格 (市場想定価格 109,800円～)
	シルバー 受注開始日：2015年6月24日～ 最速お届け日：2015年7月2日 ⇒ (変更後) 2015年7月9日	
個人向け標準仕様モデル 主な仕様： vaio.com/products/pro_mk2/13-3/specification_pm.html		
VJP1329GCJ1B	2015年6月11日発売開始	オープン価格 (市場想定価格 144,800円)
VJP1329SCH1S	2015年7月2日発売開始 ⇒ (変更後) 2015年7月9日発売開始	オープン価格 (市場想定価格 109,800円)

別売りアクセサリ：

- ・ワイヤレスルーター VJ8WAR100 市場想定価格 (税別)：約 5,500 円
- ・AC アダプター VJ8AC10V9* 市場想定価格 (税別)：約 7,000 円

*VAIO Pro 13 | mk2 同梱物と同等品

【主な特長】

1. タフモバイルノート PC

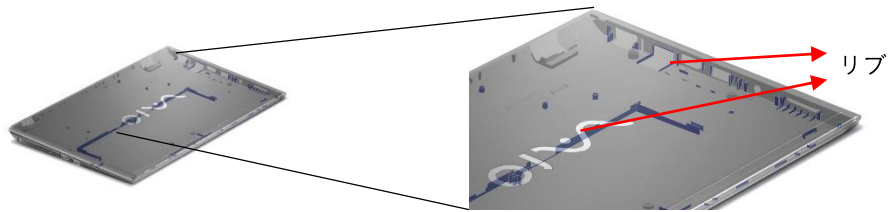
モバイルノートの宿命は、落下の危険、満員電車内での加圧など、過酷な環境で使用されること。

VAIO Pro 13 | mk2 では、堅牢性のための設計をゼロから見直し、大幅に向上させています。

また、実際の使用環境下での剛性や耐久性を測定するために、過酷な品質試験を行っています。

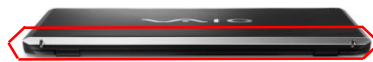
1-1. 素材と構造設計で堅牢性を強化

LCD ハウジングには、マグネシウム合金を採用。特に負荷のかかるヒンジ部は、マグネシウムの削り出しにより剛性を高めるなど、構造的に高い強度を実現しました。また、底面には、高剛性樹脂を採用。キーボードやタッチパッド、ケーブルの抜き差し部分など、ボディ内部の負担がかかりやすい箇所に立ち壁状のリップを追加することで、堅牢性を高めました。剛性の向上は、キーボードやタッチパッドの操作性の向上にもつながっています。



1-2. 「Hexa-shell (ヘキサシェル)」デザインを採用

断面が六角形状に形づくられた「Hexa-shell (ヘキサシェル)」デザインは、衝撃に対する耐久性とデザイン性を兼ね備えます。



1-3. 過酷な品質試験

VAIO Pro 13 | mk2 は、使う人にとって本当に必要な強さをさらに厳しく追及しました。危険なシーンや蓄積されるダメージを具体的に想定した試験によって弱点をあぶり出し、改良を重ねた結果が、1 台に集約されています。

ペン挟み試験

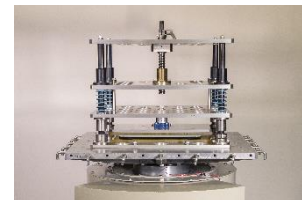
ペンを挟んで液晶を閉じた場合の耐久性を追求。

鞆の中で液晶とキーボードの間にペンが挟まった状態を想定し円筒状の棒を挟んで強い力で閉じます。

加圧振動試験

圧力と振動からデータを守る堅牢性を追求。鞆に入れて満員電車に乗った場面などを想定し、150kg*もの圧力を加えたまま振動を与え続けた後、動作確認を行います。

*kgf=1kg の質量が標準重力加速度のもとで受ける重力の大きさのこと。



角衝撃試験

日々繰り返されるストレスに対する耐性を追求。

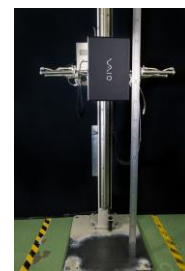
PC を片手で無造作に机に置いたときなどを想定し、5cm の高さからの落下を 5,000 回、4 つの角すべてで行います。



90cm 落下試験

持ち運び時の落下に対する堅牢性を追求。

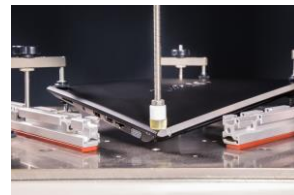
90cm は、VAIO を脇に抱えた高さ。(身長 170cm の人の平均) 抱えていて落とす、さらにはデスクから落とす場面なども想定し、90cm からの落下を天地・両側面・前後の 6 面すべてで行います。



本体ひねり試験

突然の強いひねりからデータを守る堅牢性を追求。

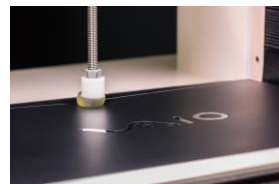
通勤ラッシュ時の急停車など PC が人や荷物で押しつけられた状態を想定し、大きなひねりを加えた後、動作確認を行います。



液晶ハウジング加圧試験

手・ひじ・鞆などで強く押ししても液晶が壊れにくい構造を追求。

持ち運ぶ際に、液晶側を手で強く押してしまう状況などを想定し、液晶側のハウジング（外装）を大きな力で直接加圧します。



※ 品質試験は、弊社の規格に基づいて特定の環境のもとで行われています。本製品の品質試験は、無破損・無事故を保証するものではなく、PC のデータを保証するものではありません。

2. ただ「薄い」「軽い」ではなく、充分を備えた上での「薄さ」「軽さ」

モバイル PC に求められる最低条件。それは、ストレスなく持ち歩くことができる「薄さ」と「軽さ」。しかし、数字上の「薄さ」「軽さ」だけをやみくもに追求すると、本来 PC に求められる機能が制限されてしまうことがあります。薄さや軽さは妥協せずに、使いやすさとデザイン性をいかに両立するか。

VAIO が考えるモバイル PC の本質は、そこにあります。

2-1. 薄くて軽いボディに、充実の端子を内蔵

ノントOUCHモデルなら、質量 1.03kg、最薄部 13.2mm。この軽量、薄型ボディに HDMI 端子、アナログ RGB 出力端子、LAN 端子、USB 端子×3 を内蔵。また、HDMI/アナログ RGB 同時出力、自液晶を含めると 3 画面同時出力が可能です。



2-2. 長時間バッテリーライフ、USB 端子付小型 AC アダプター

約 9.4~10.4 時間 (JEITA 2.0*1) のスタミナを誇ります。AC アダプターは、コンパクトサイズな上、USB 端子が付いているため、PC を経由せずにスマートフォンの充電が可能です。

*1 Windows 8.1 Update モデルの場合



3. 細部の使いやすさも追求

毎日見つめるディスプレイ、毎日打ち続けるキーボードなど、細部の使いやすさも追求しました。

3-1. 打鍵感・音質にこだわったキーボード

フラグシップモデルのVAIO Zと同じキーボードを採用。打鍵感・音質にこだわりました。キートップを支える部品ひとつひとつの加工精度を高め、可動のぶれをなくすことで、耳障りなノイズの低減に成功。また、押し始めから押し切るまでの荷重カーブを、日本人の嗜好特性に合わせて作りこむことで、心地よい打鍵感を実現しています。バックライトを搭載しているため、消灯後の機内や寝室など、暗い場所でも使用できます。

3-2. 誤動作を防ぐ2ボタンタッチパッド

左右のボタンを分けることで、クリックの誤動作を減らし、確実性を高めました。

また、キーボードのホームポジション中央に配置されているため、快適に操作を行うことができます。



3-3. 高精細、高視野角、高輝度なフルHD IPS液晶搭載

高精細なフルHD液晶を搭載し、屋外でも見やすい、さらなる高輝度化を実現。IPS方式の採用により、あらゆる角度から見やすい広い視野角を確保。今まで表現しきれなかった微妙な色のニュアンスや質感までも鮮やかに映し出します。



4. 株式会社アイキューブドシステムズ「CLOMO Certified Products」に登録

株式会社アイキューブドシステムズが提供する法人向けのスマートデバイス管理・運用・活用基盤となるMDM(モバイルデバイス管理)サービス「CLOMO MDM」の「導入推奨機種(※1)」に認定され、「CLOMO Certified Products」に登録されました。

これにより、VAIOをビジネスでお使いいただく際に「CLOMO MDM」のご利用にて、より安心してご利用いただけるようになります。今後、VAIO(株)の他のビジネス向け製品においても認定対象を広げていく予定です。

※1:「導入推奨機種」では、端末メーカーとアイキューブドシステムズが「製品発売前の確実な動作検証」と「機種依存の不具合発生防止」の実現に向けた取り組みを共同で実施します。

5. 安曇野 FINISH

製品の品質に、自分たちで責任を持つために施す最終工程です。海外の協力工場
製造される VAIO Pro 13 | mk2 は、安曇野工場で選任の技術者が一台ずつ仕上げを
行い、約 50 項目にもおよぶ品質チェックをへて、出荷されます。



以上


【画像ダウンロードサイト】

<http://vaio.com/press/>

【お問い合わせ先など】

VAIO 株式会社 広報担当：朝倉

東京オフィス：03-6205-7550 press@vaio.com

※“VAIO”、、はソニー株式会社の登録商標です。